

事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 農林水産局 農村環境課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 村上 主直 (主幹兼田園空間係長 新見 明)	内線	3931 (4028)
------	-------------------------	-------------------------	---------------------------------	----	--------------------

事業種目	農村総合整備	事業名	バイオマス活用プロジェクト 整備事業	事業区間	南あわじ地区	総事業費	約5億円
				内用地補償費	0.36億円		
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度	
南あわじ市庄田、松帆、八木養宜、賀集、牛内				H17	H17	H18	
事業目的				事業内容			
<p>南あわじ市の農地や選果場等で発生する廃玉ねぎと家庭で発生する廃食油をバイオマス資源として活用（廃食油を補助燃料として玉ねぎを炭化、土壌改良材として農地還元）し、南あわじ市の農業の振興と資源循環型社会の構築を図るとともに「農のゼロエミッション」推進のモデル地区とする。</p> <p style="text-align: center;">事業主体：南あわじ市</p>				<p>廃玉ねぎ炭化施設整備 5箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃玉ねぎ処理量：2,200ton / 年 ・廃食用油使用量（炭化のための補助燃料）：33ton / 年 ・炭化物生産量：70ton / 年 <p>土壌改良材（農地23ha分）として利用 [国50%、県6%、市22%、地元その他22%]</p>			
評価視点	評価結果の説明						
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・農家や選果業者による廃玉ねぎの自家処理（乾燥・焼却等）を炭化・農地還元処理に変更することにより、灰色腐敗病などの病原菌による玉ねぎの伝染病蔓延の防止が期待できる。 ・悪臭等により悪化している生活環境を改善できる。 ・モデル地区として県下の「農のゼロエミッション」を推進できる。 						
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・玉ねぎ生産性の向上や悪臭防止などの環境保全・向上の効果が発揮され、地域の農業振興や生活環境の向上に貢献する。 <li style="padding-left: 20px;">費用便益比 B / C 1.57 ・作物に安全で周辺的生活環境にも配慮して廃玉ねぎを農地還元するためには、病原菌が死滅し臭気も無くなる「玉ねぎ炭」に加工することが適切である。 ・廃玉ねぎ集積の移動距離を短縮し病原菌の拡散を防ぐため、炭化施設の分散（施設整備5箇所）が適切である。 ・施設用地が確保されているとともに、廃玉ネギの集積、廃食油回収、農地還元等に関わる農家や一般市民の協力についても円滑な事業執行の環境が整っている。 						
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃玉ねぎを炭化し土壌改良材として農地還元する計画であり、資源循環を推進する事業である。 ・家庭から排出される廃食油を炭化に必要な補助燃料として使用する計画であり、化石燃料の使用抑制に配慮した事業である。 						
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域は全国でも有数の玉ねぎ産地であり、食料の安定供給の観点からも産地保全が必要であり、廃玉ねぎ処理施設の整備が急がれる。 ・「農のゼロエミッション」のモデル地区として他地域への普及を図るため、早急な事業実施が必要である。 						